

菜の花プロジェクト2015 報告会

平成27年12月5日（土）午前9時30分から、鳥取中央農業協同組合本所（グリーンコープ グリーン・太陽閣）を会場に倉吉市内小学校児童代表（40名）、中学校生徒代表（20名）が集まり、「菜の花プロジェクト2015報告会」を開催しました。



初めに、福井教育長が「『倉吉のまちをより美しくするために菜の花を咲かせよう』と始まったプロジェクトが7年目となる。多くの市民に知っていただき、協力していただけるようになってきた。学校や地域が一緒になって、住んでいる地域をより良くすることがこのプロジェクトの趣旨である。倉吉に残る人も出る人も、ふるさとを大切に思う人になってほしい。今日の発表を楽しみにしている。」とあいさつしました。

その後、各小中学校の代表が発表を行いました。菜の花の種をまいた時の様子と今の苗の様子をスライドで紹介しながら、各学校の取り組みの報告や今後引き継ぎたいことについて提案していきました。主な発表内容は以下のとおりです。

【各学校の取り組み報告】

■菜の花について…菜の花で広がる笑顔の輪

- ・地域の方と一緒に種まき（土曜授業も活用して）
- ・保育園児と一緒に種をまく（上学年が教える）
- ・全校にプロジェクトの意義説明
- ・水やり、追肥、間引き、植え替え
- ・プランターに植える
- ・プランターをプレゼント（公民館、お世話になった人、保育園）
- ・種の収穫（全校で、地域の方と）
- ・菜種を配布（運動会・文化祭・イベント・学校公開などで、地域の方・病院・福祉施設・独居老人に）
- ・菜種を配布する際の封筒の作製
- ・校内に菜の花コーナーを作成・掲示
- ・ちらし、ポスター、看板の作製
- ・川柳大会
- ・ウェブページで菜の花プロジェクトの活動報告
- ・県外他校との交流（菜の花を通じて）

■協力していただいた地域の方々や団体

- ・公民館
- ・保育園
- ・ボランティアの方
- ・シニアクラブ、老人クラブ
- ・地域の振興会

■菜の花以外に取り組んだこと

- ・エコキャップ運動、リサイクル活動
- ・あいさつ運動
- ・他の花の栽培



- ・高齢者施設に花のプレゼント
- ・収穫祭ー地域の人とのコミュニケーションー
- ・クリーン活動、地域の清掃活動（ペンキ塗り等）
- ・かぐや姫プロジェクト（地域の不要な竹の伐採）
- ・地域との各種交流（焼き物づくり、他の花の種まき、米の販売、交流給食など）

【次年度に引き継ぎたいこと】

- ・種をまく場所をもっと広げたい（河川敷にも）
- ・立派な花を咲かせてほしい
- ・地域の方等にも種を分けてあげる
- ・菜の花以外の活動の充実

各校の報告の後の感想発表では、「いい活動をしている学校が多いので、自校でもやってみたい」「地域の人に感謝の気持ちを伝えたい」「倉吉を盛り上げていきたい」という発言が多くありました。



続いて、次年度に引き継ぎたいこととアピールについて全体で確認しました。このアピールは、中学生が原案を考えたものです。この確認の

中で、代表の中学生は、「関係機関、地域の方と協力してまちづくりのための活動を、今後も進めていきたい。」と力強く話していました。



【菜の花プロジェクト2015アピール】

- ・つなげよう 私たちの意志と菜の花の未来
- ・広げよう みんなの希望と地域の笑顔
- ・伝えよう 咲き誇る黄色い花と郷土愛

アピールが採択された後、関係機関の方々から指導講評をいただきました。

【国土交通省倉吉河川国道事務所 藤原所長】

笑顔で楽しそうな報告を聞いてとても力をいただいた。通勤時に、小中学生に明るい笑顔であいさつをしてもらい大変うれしい。倉吉はとてもいいまちであり、日本一の水質の河川をもつまちでもある。これからもこの3つの川（天神川・小鴨川・国府川）を大切にして、倉吉は誇れるまちであることを後輩に伝えていってほしい。

【中総合事務所農林局 米田副局長】

かなりの時間がかかった大変な取組であるが、その分自信になったのではないと思う。失敗談もあったが、次につながる発表であり良かった。実際に体験したことは一生忘れることはない。この経験を大切にしてほしい。「地域の方とのつながり」「ふるさとを愛する心」を忘れずに今後も取り組んでいただきたい。そして、将来この地で活躍してほしい。

【JA鳥取中央 栗原専務】

今年も大農業祭に報告会として来ていただきありがたい。最初の頃は、菜の花の栽培面での報告が多かったが、今ではいろいろな取組に発展しているのをうれしく思う。種を蒔いて花を咲かせる技術はすでに完成の域ではないかを感じる。今後は、種を取って油を絞って料理・燃料に活用し、環境問題について考える取組になったらと思う。

【鳥取県立農業大学校 門脇准教授】

今日の皆さんの発表態度や聞く態度に感心した。菜の花を栽培するだけでなく、地域の皆さんと更に県外の生徒ともつながっていることに驚いた。花を贈られて嫌がる人はいない。それは誰もが花を好きだからである。春に菜の花が倉吉中に咲き誇ると感動を与える。今日様々な学校から得た情報を、各校で活かして行って更に活動を広げて行ってほしい。

最後に当日開催されていたJ A鳥取中央主催の大農業祭のステージを借りて「菜の花プロジェクト2015アピール」を行いました。各中学校の代表生徒が各関係機関の方々にアピール文を贈呈しました。



「菜の花プロジェクト」は、今年度で7年目を迎えましたが、協力・応援してくださる方が年々増えていると感じます。中学3年生の参加者の感想には「菜の花を咲かすことだけでなく、そこまでのプロセスが菜

の花プロジェクトの魅力だと思いました。来年度の執行部にも頑張ってもらいたいです。」という言葉がありました。この思いが後輩達にも伝わって行ってほしいと感じました。ふるさとに誇りと愛着を持つ児童生徒の姿に、心強さを感じ勇気を得た一日でした。



【児童生徒の感想より】

- ・今回の報告を聞いて、自分達のやっていること、そして他校の行っていることが、いかに大切なことであるかが分かりました。自分達は今年で小学校を卒業しますが、この意志は来年の6年生、再来年の6年生へと引き継がれます。これからも、この故郷倉吉を盛り上げていきたいと思えます。
- ・長野県の学校とも交流していると聞いて、地域の方だけでなく他県とも交流があることがすごいと思いました。
- ・初めて参加して、倉吉の小中学校がたくさん取り組んでいることが分かりました。春にある淀屋サミットも参加すると思うので、そこでしっかり自分の考えを出していこうと思いました。
- ・普段は小学生や他の中学生との関わりが少ないので、今回たくさんの児童生徒と思ったことや取組を共有できたことは良かったと思えます。
- ・小学生も中学生もしっかり発表できていてさすがだなと思いました。去年に引き続き、この場に参加できたことをうれしく思います。これからも菜の花プロジェクト、そして倉吉市の、地域の輪を広げていけたらなと思いました。

